資　料　２

試行運行路線の運行計画（案）について

第３回品川区地域公共交通会議資料
（令和3年12月27日）

（目次）

１．運行計画（案）について
（１）運行ルート・バス停留所（案）
（２）運行計画（案）
（３）運行開始予定日
（４）運賃（案）
２．車両とバス停留所標識（案）について
（１）車両
（２）バス停留所標識（案）
<参考> 事業を進めるにあたって

1. 運行計画(案)について

（１）運行ルート・バス停留所（案）

①起　　点：　西大井駅
②終　　点：　大森駅北口
③主経由地：　大井警察署、品川歴史館、さくら会
④営業キロ：　往復６．４km（往路３．２km、復路３．２km）

：コミュニティバス路線
：バス停候補地（黄：新設、赤：東急バス併用）
：既存バス路線・バス停

（２）運行計画（案）

①運行時間：　西大井駅発
　　始発　午前７：００　終発　午後８：３０
　　大森駅北口発
　　始発　午前７：３０　終発　午後９：００
②所要時間：　往路２０分　復路２０分
③運行間隔：　３０分間隔（８月以降２０分間隔に変更予定）
④運行回数：　往路２８回　復路２８回（８月以降変更予定）
　　※平・土・休日共通
　　※地域の催事の際は、適宜運休する予定

（３）運行開始予定日

令和４（２０２２）年３月２８日（月）

1. 運行計画(案)について

（４）運賃（案）

- 基本的には、一般路線バス(民間バス)と同等の運賃・割引制度を設定
- 東急バス路線との乗り継ぎが可能な一日乗車券の利用や、コミュニティバス専用回数券を設定

■ 普通運賃：　１乗車　大人・・・・・・・・・・２２０円（税込み）
　　小児(小学生以下)・・・１１０円（税込み）

■ 支払い方法：　現金またはＩＣカード（ＰＡＳＭＯ、Ｓｕｉｃａ）

■ 割引制度：　区内の一般路線バス(民間バス)と同等に設定

①障害者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・普通運賃の半額
・身体障害者：身体障害者手帳の交付を受けている方および介護人は、手帳(またはミライロＩＤ)の呈示により普通運賃が５割引
・知的障害者：知的障害者の療育手帳の交付を受けている方および介護人は、手帳(またはミライロＩＤ)の呈示により普通運賃が５割引
・精神障害者：障害者保健福祉手帳の交付を受けた方は、手帳(またはミライロＩＤ)の呈示により普通運賃が５割引
※「ミライロＩＤ」とは、障害者手帳を所有している方を対象としたスマートフォン向けアプリで、ユーザーは障害者手帳の情報、福祉機器の仕様、求めるサポートの内容などをミライロＩＤに登録できる。
②幼児(1歳以上～6歳未満)・・・・・・・・・・小学生以上に同伴する幼児2人までは無料、1人で乗車した場合は小児運賃
③乳児(1歳未満)　・・・・・・・・・・・・・・無料
④高齢者(東京都シルバーパス所持者)・・・・東京都シルバーパスの呈示により無料

■ 路線バスとの乗り継ぎ：

東急バス路線との乗り継ぎを想定し、東京都内、川崎市内、横浜市内のすべての東急バス一般路線が一日乗り放題となる「東急バス一日乗車券（大人５２０円、小児２６０円）」の利用を可能とする。
※ＩＣカード（ＰＡＳＭＯ、Ｓｕｉｃａ）利用時のみ
※障害者割引は「東急バス障がい者割引一日乗車券(紙式)（大人２６０円、小児１３０円）」により対応

■ 回数券：　コミュニティバス専用の回数券(紙式)を設定

①大人：２，０００円（２２０円券×１０枚）
②小児：１，０００円（１１０円券×１０枚）
③障害者(大人)：１，０００円（１１０円券×１０枚）
④障害者(小児)：５００円（５５円券×１０枚）

■ その他：　・コミュニティバス専用の定期乗車券は設定しない。
・東急バス等の他路線バスの定期乗車券の利用も不可とする。

2. 車両とバス停留所標識（案）について

（１）車両

■ 車　　種：　日野自動車 ポンチョ ショート

■ 台　　数：　３台（うち予備車両１台）
※８月以降４台（うち予備車両１台）に変更予定

■ 仕　　様：　ノンステップ車両、ディーゼル車

■ サ イ ズ：　全長６．９９ｍ、全幅２．０８ｍ、高さ３．１０ｍ

■ 乗車定員：　２９名（座席１０名、立席１８名、乗務員１名）

■ 主な特徴：　・ニーリング機構搭載（ドアが開くとステップ高が５０ｍｍ下がる）
・スロープ板（着脱式）を採用（右図参照）
・車椅子固定装置あり（右図参照）

■ 感染症対策：　運転席にアクリル製仕切りを設置、車内換気扇の増設

■ デザイン：　今後募集する愛称と合わせたデザインなどの外装ラッピングを予定

■ 広　　告：　運行事業者が募集し、車内に掲示予定

■ 車内案内：　１か国語放送、２か国語モニター表示

■ 運行情報：　バスナビシステム「東急バスナビ」搭載
※東急バスナビ：車両位置や所要時間等の最新の運行情報を提供。
スマートフォン等を活用して、リアルタイムに
運行状況を確認することが可能。

日野自動車 ポンチョ ショート※ボディカラーはイメージ

スロープ版（着脱式）

車椅子固定装置

（出典）日野自動車株式会社のカタログより抜粋

（２）バス停留所標識（案）

■ 仕　　様：　しらゆり型ＳＴ（右図参照）
※新設標識、東急バスとの併用標識ともに同型

■ デザイン：　新設標識：イメージは右図参照
併用標識：既存停留所にコミュニティバスの運行情報を併記

バス停留所標識（新設）のイメージ

＜参考＞ 事業を進めるにあたって

- 年間運行経費は、約５１，０００千円
- 本格導入に必要な乗客数の目安は、１日あたり３５０人（片道１便あたり６．２５人）　注）乗客全員が運賃２２０円を支払った場合の試算

① 運行経費の試算

■ 年間運行経費：　約５１，０００千円　（運行事業者による試算）

（内訳）	人件費	約４５，０００千円
	燃料費	約　１，０００千円
	車両維持・修繕費	約　１，５００千円
	諸経費	約　３，５００千円

② 本格導入に必要な乗客数の目安

■ 収支率５０％以上となるために必要な収入：

運行経費５１，０００千円×５０％＝ ２５，５００千円

■ 本格導入に必要な乗客数の目安：

運賃２２０円を支払って乗車する人が １日あたり３５０人（片道１便あたり６．２５人）

※３５０人×２００円(税抜)×３６５日＝２５，５５０千円　　※３５０人÷(往路２８便＋復路２８便）＝６．２５人

■ 試行運行期間と本格導入の判断基準

■ 試行運行期間：４年間（令和４年３月～令和７年度）
※３年目の運行実績に基づき、本格導入 or見直し(廃止含む)を判断

■ 判断基準　：収支率５０％以上

※ 運行台数を変更した際や西大井循環区間の運行を開始した際は、「運行経費」とともに「本格導入に必要な乗客数の目安」も変わるため注意が必要

③ 利用促進に向けて

- ＰＲ活動の実施（広報誌、ケーブルＴＶ、沿線地域等へのチラシ配布）
- 沿線住民や利用者等からなる「(仮称)利用者連絡会」を設置〔運行開始後〕
- アンケート調査によるニーズの把握〔運行開始後〕
- 運行計画の検証・改善〔運行開始後〕